



# 最適なアプリケーションとマネージャを見つける方法

ハードウェアプラットフォームは、Secure Firewall Threat Defense または ASA の 2 つのアプリケーションのいずれかを実行できます。アプリケーションごとに、マネージャを選択できます。この章では、アプリケーションとマネージャの選択肢について説明します。

- [アプリケーション \(1 ページ\)](#)
- [マネージャ \(1 ページ\)](#)

## アプリケーション

ハードウェアプラットフォームでは、次のいずれかのアプリケーションが使用できます。

- **Threat Defense** : Threat Defense (以前は Firepower Threat Defense と呼ばれていました) は、高度なステートフルファイアウォール、VPN コンセントレータ、および次世代 IPS を組み合わせた次世代ファイアウォールです。
- **ASA** : ASA は、従来の高度なステートフルファイアウォールおよび VPN コンセントレータです。

シスコでは、ASA から Threat Defense への移行ツールを提供しています。このツールは、ASA の使用を開始し、後に Threat Defense に再イメージ化する場合に、ASA を Threat Defense に変換するのに役立ちます。

ASA と Threat Defense 間での再イメージ化の方法については、『[Cisco Secure Firewall ASA および Secure Firewall Threat Defense 再イメージ化ガイド](#)』を参照してください。

## マネージャ

Threat Defense と ASA は複数のマネージャをサポートします。

## Threat Defense マネージャ



(注) Secure Firewall Device Manager (旧 Firepower Device Manager) は、Cisco Secure Firewall 4200 ではサポートされていません。

表 1: Threat Defense マネージャ

マネージャ	説明
Secure Firewall Management Center (旧 Firepower Management Center)	<p>Management Center はマルチデバイスマネージャで、独自のサーバーハードウェア上で、またはハイパーバイザ上の仮想デバイスとして稼働します。</p> <p>ローカル Management Center については、<a href="#">Management Center での Threat Defense の展開</a> を参照してください。</p> <p>リモート Management Center については、<a href="#">リモート Threat Defense による Management Center の展開</a> を参照してください。</p>
Cisco Defense Orchestrator (CDO) クラウド提供型 Firewall Management Center	<p>CDO のクラウド提供型 Firewall Management Center には、オンプレミス管理センターのすべての設定機能があります。分析機能については、クラウドソリューションまたはオンプレミスの管理センターを使用できます。CDO は、ASA などの他のセキュリティデバイスも管理します。</p> <p><a href="#">CDO を使用した Threat Defense の展開</a> を参照してください。</p>
Cisco Secure Firewall Threat Defense REST API	<p>Threat Defense REST API を使用すると、Threat Defense の直接設定を自動化できます。Management Center または CDO を使用して Threat Defense を管理している場合は、この API を使用できません。</p> <p>このガイドでは、Threat Defense REST API について説明しません。詳細については、<a href="#">Cisco Secure Firewall Threat Defense REST API ガイド</a> を参照してください。</p>
Secure Firewall Management Center REST API	<p>Management Center REST API を使用すると、管理対象の Threat Defense に適用可能な Management Center ポリシーの設定を自動化できます。この API は、Threat Defense を直接管理しません。</p> <p>このガイドでは、Management Center REST API について説明しません。詳細については、<a href="#">Cisco Secure Firewall Management Center REST API クイックスタートガイド</a> を参照してください。</p>

## ASA マネージャ

表 2: ASA マネージャ

マネージャ	説明
CLI	CLI を使用して、すべての ASA 機能を設定できます。 CLI については、このガイドでは取り上げていません。詳細については、『 <a href="#">ASA 構成ガイド</a> 』を参照してください。
Adaptive Security Device Manager (ASDM)	ASDM は Java ベースのオンデバイスマネージャであり、ASA のすべての機能を提供します。 「 <a href="#">ASDM を使用した ASA の展開</a> 」を参照してください。
CDO	CDO はクラウドベースのマルチデバイスマネージャです。CDO は Threat Defense などの他のセキュリティデバイスも管理します。 ASA の CDO については、このガイドでは取り上げていません。CDO を使用する前に、 <a href="#">CDO のホームページ</a> を参照してください。
Cisco Security Manager (CSM)	CSM は、独自のサーバーハードウェア上で動作するマルチデバイスマネージャです。CSM は Threat Defense の管理をサポートしていません。 CSM については、このガイドでは取り上げていません。詳細については、『 <a href="#">CSM ユーザーガイド</a> 』を参照してください。
ASA HTTP インターフェイス	HTTP を使用すると、自動化ツールは特定形式の URL にアクセスすることで、ASA でコマンドを実行できます。 ASA HTTP インターフェイスについては、このガイドでは取り上げていません。詳細については、「 <a href="#">自動化向けの Cisco Secure Firewall ASA HTTP インターフェイス</a> 」を参照してください。



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。